令和元年度

ネットワーク社会におけるメディアとヒューマンコミュニケーション

第23回 視聴覚教育総合全国大会

第70回 放送教育研究会全国大会

合同大会

2020～新学習指導要領の実施に向けて

- 放送教育
- アクティブラーニング
- プログラミング教育
- ICT教育
- 情報活用能力

1日目 11/8(金) 各会場園・校・施設

10:00 受付
10:30 公開保育
11:15 施設・保育見学
11:45

13:10 受付
13:30 意見交流(幼・保)
15:30

(13:00) 受付
(13:20) 公開授業・研究協議・講演ほか(小・中)
研究交流(生涯学習)
(16:45)

※各校の時程は異なります。詳しくは各校のページをご覧ください。

2日目 11/9(土) 東京・台東区立台東育英小学校

9:00 受付
9:20 ワークショップ・セミナー(一般・OB)
11:00 全体会(開会・表彰・プレゼン)
12:00 昼食
13:00 実践発表
15:10 講演
16:30 閉会
17:00 抽選会(16:45)

視聴覚教材・教具展示研究

期日:令和元年11月8日(金)・9日(土)

◉会　場　東京・文京区 社会福祉法人あしたばの会 たんぽぽ保育園
東京・文京区立湯島小学校　埼玉・さいたま市立浦和別所小学校
東京・文京区立茗台中学校　東京・板橋区立志村第四中学校
パナソニックセンター東京(江東区有明)　東京・台東区立台東育英小学校

◉主　催　全国放送教育研究会連盟　NHK
視聴覚教育総合全国大会連絡協議会
(日本学校視聴覚教育連盟　全国高等学校メディア教育研究協議会
全国視聴覚教育連盟　一般財団法人日本視聴覚教育協会)

◉共　催　NHKサービスセンター

◉後　援　内閣府　総務省　文部科学省　厚生労働省　東京都教育委員会　埼玉県教育委員会
台東区教育委員会　文京区教育委員会　板橋区教育委員会
さいたま市教育委員会　さいたま市立小学校校長会　さいたま市中学校長会
日本教育メディア学会　日本教育工学会　日本教育工学協会　日本視聴覚教具連合会
(公社)映像文化製作者連盟　(一部申請中)

1日目〔11/8(金)〕

公開保育・公開授業　各会場園・校

文京区 社会福祉法人あしたばの会 たんぽぽ保育園　(受付10:00)

●保育園紹介　園長 菅原 良次

設立の趣旨は就労している女性の子育てを支援するため、無認可保育室から出発しており、東京大学近くの自然が多い場所で散歩にも恵まれた環境にあります。

一人ひとりを大切にすること、健康な身体作り、自主性、社会性を育てる保育に取り組んでいます。乳児クラスは育児担当制を取り安心して過ごせるように配慮し、幼児クラスは集団生活の大切さを基本として活動内容を立て、子どもたちが主体的に遊べるように努めています。

●公開保育（本園）文京区本郷7丁目3-1　10:30～11:45

組（歳児）	活用番組名	保育者名
らいおん組(5歳児)	『お話でてこい』	倉橋 美希子

※11:15～11:45　施設・保育見学。全クラスの保育の様子を公開します。

●意見交流（しんはな分園）文京区湯島2-31-1 三友ビル　(受付13:10)　13:30～15:30

コーディネーター・指導　鳩山 多加子（前文京学院大学教授、前全放連講師）

さいたま市立浦和別所小学校　(受付13:10)

●学校紹介　校長 紺野 達郎

本校はさいたま市の南部に位置し、児童数1,000名を超える大規模校であり、本年度、開校８２周年を迎える伝統校です。「保護者・地域と絆を深め、親しまれ、信頼される学校」を目指し、教職員一丸となって教育活動に邁進しております。

本校の研究テーマは「主体的・対話的に学び合う授業づくり」。教育番組、ICT等を活用し、研究テーマの実現に向け、研究を進めております。教育番組の活用によって広がった児童の思考を、どのようにつなぎ、さらにその後の学習活動に生かしていくか。研究過程である今回は提案型を意識した発表をさせていただきます。

●公開授業　13:40～14:25

学年	教科	単元名	活用番組名・活用ICT機器など	授業者
1年3組	道徳	だれとでもわけへだてなく	『銀河銭湯パンタくん』	小崎 景綱
2年3組	外国語活動	おなかがすいた?	デジタル教材「Global Studies with NICO and ANNA」	木村 美由紀
3年3組	国語	物語のおもしろいところをしょうかいしよう	『お伝と伝じろう』 電子黒板	藤井 亜裕子
4年1組	総合	コンピューターと私たちの暮らし ～アニメーションを作ろう～	『Why!?プログラミング』 2in1パソコン	川野 貴博
5年4組	理科	流れる水のはたらき	『ふしぎエンドレス理科5年』 タブレット端末	塩原 渉
6年1組	社会	平和で豊かな暮らしを目ざして	『歴史にドキリ』 タブレット端末	石川 秀治

● 開会行事・研究協議（分科会）　14:40～15:35

● 講演「主体的・対話的で深い学びを実現する教育番組の活用」　15:45～16:45

講師　小林 祐紀（茨城大学准教授）

文京区立湯島小学校

（受付13:15）

●学校紹介

校長　栗原 宏成

文京区は、東京都の区部の中心地に近く、皇居の北の方角にあります。本校は、文京区の南東端、湯島天満宮や湯島聖堂、東京大学などの近くに位置しています。

総合的な学習の時間を中心にカリキュラム・マネジメントして、年間指導計画を工夫し情報活用能力育成の指導時間を確保しました。児童が目的に応じてICTを活用し、児童にとっての必然性や相手意識を大切にしたプログラミング教育の一方策を提案します。

●公開授業

13:45～14:30

学年	教科	単元名	活用ICT機器	授業者
1年1組	生活科	きれいにさいてねわたしのはな	電子黒板、実物投影機、タブレット端末	杉山 亜矢子
2年1組	生活科	作ってためして	電子黒板、実物投影機、タブレット端末	池神 里絵
3年1組	総合	アド街ック湯島	電子黒板、タブレット端末	松島 千賀子
3年2組	道徳	肖像権ってなんだろう	電子黒板、プレゼンテーションソフト	簑輪 幸一 （台東区立金曽木小）
4年1組	総合	文京区から世界へ ～金栗四三～	電子黒板、タブレット端末	土屋 啓成
4年2組	道徳	肖像権について考えよう	電子黒板、プレゼンテーションソフト	鵜川 孝之 （板橋区立蓮根小）
5年1組 5年2組	総合	笑顔あふれる世界へ	電子黒板、タブレット端末 ロボット・プログラミング学習キット	森下 知子 鎌田 水都城
6年1組 6年2組	総合	湯島今昔物語	電子黒板、タブレット端末	藤田 寛樹 天野 真希

● 研究発表

14:50～15:30

● 講評・講演「プログラミング的思考を育成する授業づくり」

15:30～16:30

講師　藤川 大祐（千葉大学教育学部教授・附属中学校長）

文京区立茗台中学校

（受付13:00）

●学校紹介

校長　石出 勉

本校は都心部に位置する文京区の西部、茗荷谷に面した台地にそびえ立つ学び舎ということから「茗台」の名がつきました。かの『いだてん』が毎日走っていたという春日通り沿いの8階建ての校舎です。全ての教室に電子黒板、無線ネットワークを施設し、タブレットPC160台とともに教育活動に活用しています。今年、開校60年目を迎え、地域に根ざした学校づくりに向けて取り組んでいます。

●公開授業

13:30～14:20

学年	教科	単元名	活用ICT機器	授業者
1年1組 1年2組	数学	5章「平面図形」1節「図形の移動」	タブレット端末	石鍋 慶文 髙林 陽介 橘 智子
1年3組	社会	世界の諸地域（北アメリカ州）	タブレット端末	君島 弘基
2年1組	音楽	器楽（ギター）	電子黒板	阿部 暁
2年2組	国語	走れメロス	タブレット端末	合田 あゆみ
3年1組 3年2組	英語	TOTAL　ENGLISH 「Taking Time 3 Asking the Way」	電子黒板	髙橋 乃枝瑠 中山 静寿保 西尾 洋士
3年3組	理科	天体の見え方	電子黒板、タブレット端末	渡辺 直樹

● 研究協議

14:30～15:10

● 講演「新学習指導要領を見据えたICTを活用した授業づくり」

15:20～16:30

講師　中川 一史（放送大学教授）

1日目〔11/8(金)〕

板橋区立志村第四中学校

(受付13:00)

●学校紹介

校長　北村 康子

板橋区小中一貫研究指定校として授業規律の確立と授業革新推進に取り組み、ＩＣＴ活用、『読み解く力』習得の９年間教育を探究し、ＦＬＣ（fight learn clean）学びのエリアの『学力向上』につなげます。さらに板橋区コミュニティ・スクール推進委員会を設置し、地域が参画する学校として、教育資源を授業革新推進に取り入れ、生徒自らが向上心や集中力、知識・技能を高め、自己肯定感を培います。公開授業では、課題に正対し、『ＮＨＫ for Ｓchool』の映像を基にしたＩＣＴ活用から、意欲と発意を生かすことで、主体的に考え、協働学習の対話的実践を重ねた深い学びを展開します。地域や保護者と共に生徒の健やかな心身の成長を願い、意欲・向上心を育て、よさを認め励ます全教職員の実践報告とします。

●公開授業

13:30～14:20

学年	教科	単元名	活用番組名・活用ICT機器など	授業者
1年1組 1年2組	保健体育 体育分野	B器械運動 跳び箱運動（男子体育）	『はりきり体育ノ介』 タブレット端末、プロジェクター	蛯谷 愛樹
1年1組 1年2組	保健体育 体育分野	B器械運動 マット運動（女子体育）	『はりきり体育ノ介』 タブレット端末、プロジェクター	池田 恵
1年3組	家庭	住生活と自立 ～住まいの役割と住まい方を考えよう～	『NHK高校講座 家庭総合』 65インチディスプレイ	三枝 千里
1年4組	音楽	混声三部合唱：合唱コンクールから学ぶ	『NHK全国学校音楽コンクール』 65インチディスプレイ	井上 功亮
1年5組	社会	オセアニア	『10min.ボックス 地理』 電子黒板	新色 隆幸
2年1組	美術	お面の作成	『NHK高校講座 芸術・美術I』 65インチディスプレイ	本村 綾
2年2組	国語	平家物語	『おはなしのくにクラシック』 電子黒板	菊地 華奈
2年3組	社会	北海道の農業	『10min.ボックス 地理』 電子黒板	山下 尚士
2年4組	技術	エネルギー変換とその利用	『10min.ボックス テイクテック』 電子黒板	佐藤 寿晃
2年5組	英語	道案内（少人数指導 1学級2展開）	『NHK高校講座　コミュニケーション英語I』 電子黒板、タブレット端末	山邉 敦・奈良 実紀・ トレイス・スミス・渡辺 梓
3年1組	理科	地球と宇宙	動画クリップ『4分でわかる!?宇宙138億年』 電子黒板	矢崎 恵
3年2組	国語	故郷	『10min.ボックス 現代文』 電子黒板	丸山 明美
3年3組 3年4組	数学	相似な図形（基礎コース・発展コース 2学級3展開）	『NHK高校講座 ベーシック数学』 電子黒板、タブレット端末	有働 久美・渡辺 直斗・ 井上 真由美・飛田 修二
1年7組 2年7組 3年7組 特別支援学級 （知的）	道徳	自律、自由と責任 ～よりよい学校生活・集団生活の充実～	『オン・マイ・ウェイ!』 電子黒板	安藤 広大・鶴田 将志・ 岡崎 美佳・本多 康二・ 下田 佳弘・藤原 未香

● 研究協議（教科等分科会）

14:40～15:20

● 研究実践報告

15:30～15:50

● シンポジウム「『読み解く力』習得による学力向上」

15:50～16:40

シンポジスト　浅井 和行（京都教育大学副学長）／田中 洋一（東京女子体育大学教授）／中川 修一（板橋区教育委員会教育長）

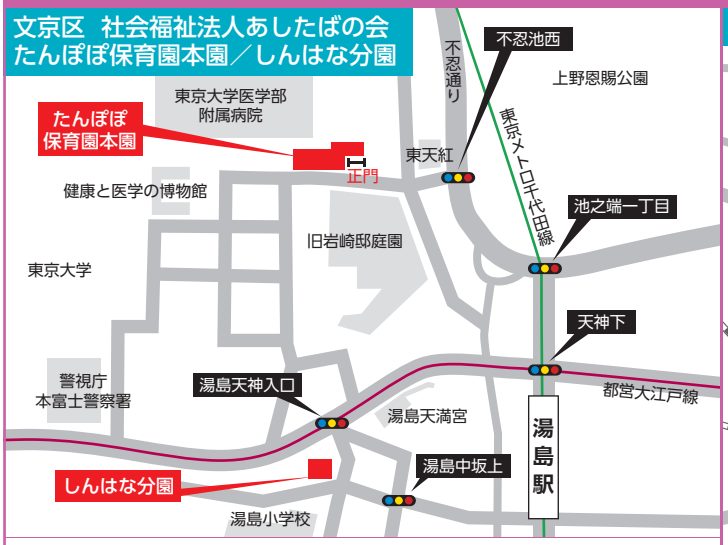
研究交流（生涯学習）　パナソニックセンター東京　（受付 13:00）

●研究交流・施設見学・事業紹介、意見交換会　13:30～15:30

会場となる「パナソニックセンター東京」は、ショールームであるとともに、子どもから大人まで、そして教育関係者に向けた体験型教育施設である「リスーピア」を併設しています。理科・数学のおもしろさ、すばらしさを体験できる施設として開設された「リスーピア」のねらいや機能についてお話を伺うとともに、映像と体験を組み合わせた展示を見学し、これからの視聴覚教育の取り組みの参考にしていただけるようにします。

大会1日目　各会場へのアクセス

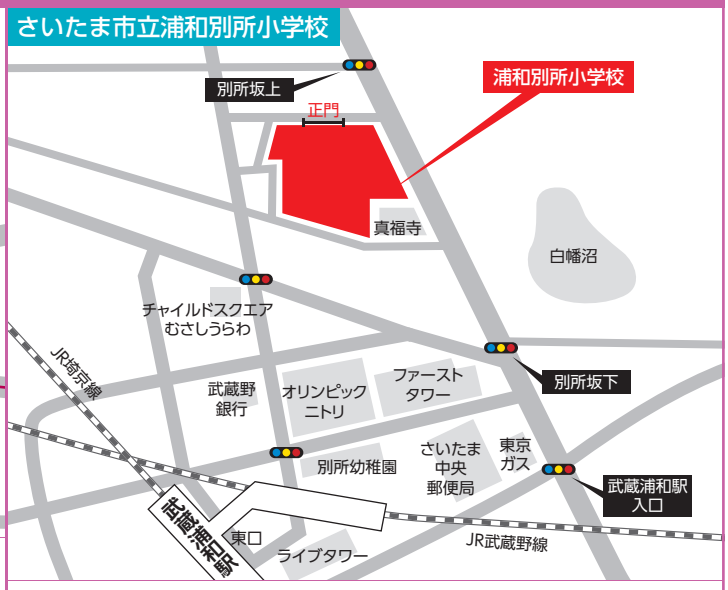
文京区　社会福祉法人あしたばの会 たんぽぽ保育園本園／しんはな分園



たんぽぽ保育園本園:〒113-0033　東京都文京区本郷7-3-1　TEL:03-3812-4091
東京メトロ千代田線「湯島」駅から徒歩7分

しんはな分園:〒113-0034　東京都文京区湯島2-31-1 三友ビル　TEL:03-6240-0569
東京メトロ千代田線「湯島」駅から徒歩7分

さいたま市立浦和別所小学校



〒336-0021 埼玉県さいたま市南区別所2-5-34　TEL:048-862-2775
JR埼京線・JR武蔵野線「武蔵浦和」駅から徒歩7分

文京区立湯島小学校

〒113-0034　東京都文京区湯島2-28-14　TEL:03-3813-6061
東京メトロ千代田線「湯島」駅から徒歩7分

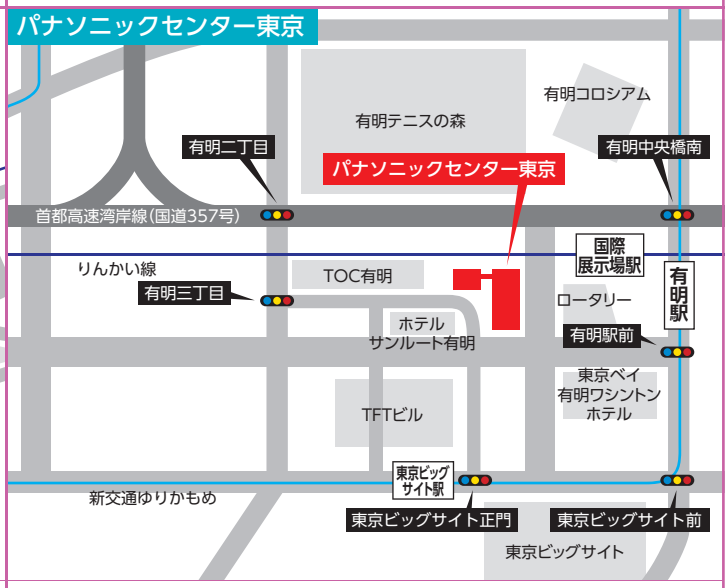
文京区立茗台中学校

〒112-0003　東京都文京区春日2-9-5　TEL:03-3811-2969
東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩7分

板橋区立志村第四中学校

〒174-0056　東京都板橋区志村3-15-1　TEL:03-3966-9426
都営地下鉄三田線「志村三丁目」駅から徒歩4分

パナソニックセンター東京



〒135-0063　東京都江東区有明3-5-1　TEL:03-3599-2600
りんかい線「国際展示場」駅徒歩2分　新交通ゆりかもめ「有明」駅徒歩3分

2日目〔11/9(土)〕 東京・台東区立台東育英小学校

ワークショップ・セミナー　9:20～10:50

	テーマ	形式	内容	指導講師
1	徹底解説! 新学習指導要領の中でいきる 放送番組&ICTの活用	セミナー	新学習指導要領のポイントを読み解きながら放送番組やICTをどう活用すれば、児童・生徒の資質・能力を高められるのか。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や各教科等の「見方・考え方」を鍛え働かせるコツを丁寧に解説します。	高橋 純 東京学芸大学准教授
2	自覚させ自律を目指した 情報モラル教育	ワーク	子どもたちのネットトラブルを防ぐために大切な情報モラル教育について，教材や指導方法を体験的にご紹介します。特に，ネットの危険性を伝えるだけではなく，問題行動をどのように「自覚」させるかという点を主眼において考えていきます。	酒井 郷平 東洋英和女子学院大学助教
3	様々な番組を活用したプロジェクト型学習(PBL)の授業デザインワークショップ ーSDGs(持続可能な開発目標)をテーマとした問いの立て方と単元づくりー	ワーク	世界の教育の潮流の中で注目されているPBLとはどのようなものかを実践事例を紹介しながら、WSを通して参加者と一緒に考えていきます。授業デザインのための視点としてSDGsを活用するとともに、NHK for Schoolの豊富なコンテンツを利用して多角的に問題に取り組む視点を考えます。	小林 祐紀 茨城大学准教授
4	メディアタイムズを活用した メディア・リテラシーを 育む授業について考える	ワーク	主体的・対話的に深く学び続け、新しい社会を生きる能力として、子どもたちのメディア・リテラシーを育むことが重要です。本ワークショップでは、番組『メディアタイムズ』を活用した模擬授業を体験し、メディア・リテラシーを育む教育方法について考えます。	中橋 雄 武蔵大学教授
5	番組づくりと保育・授業づくりの Deepな関係 ～番組制作者との意見交換～	ワーク・セミナー	『昔話法廷』『いじめをノックアウト』『ふしぎエンドレス』『NHKキッズ』について、番組制作者と授業実践者や参加者の皆さんとの思いの共通点を見つけたり、番組分析をしたりします。番組を活用した授業づくりの手がかりを探ります。	堀田 博史 園田学園女子大学教授
6	全視連の調査研究報告・ 意見交換	セミナー	平成30年度の研究プロジェクトで行われた「地域メディアセンター事業事例研究」の成果を報告し、取り上げられた5つの視聴覚センター・ライブラリーの実践から学ぶとともに、意見交換により、それぞれの立場で各実践をどのように生かせるか考えます。	村上 長彦 全視連専門委員長
7	「取材と表現」 ～ドキュメンタリー番組 制作現場から～	セミナー	NHK特集、NHKスペシャルで数多くのドキュメンタリー番組を制作した相田洋さんが、ロケ取材の様子や『移住50年目の乗船名簿』などの作品の映像を通して、活字とは違う映像による「取材と表現」についてお話しします。	相田 洋 元NHKディレクター

全体会　11:00～12:00

●**開会行事**　主催者あいさつ　来賓祝辞

●**功労者表彰式**　これまで視聴覚教育、放送教育にご尽力いただいた功労者の方々に感謝の気持ちを表します。

●**NHKプレゼンテーション**　番組制作者より、NHK for Schoolの最新動向と制作コンセプト、活用ポイント等について紹介します。

講演　15:10～16:30

辻野 晃一郎氏　アレックス株式会社代表取締役社長兼CEO(グーグル日本法人前社長)

テーマ「これからの時代に求められる人材と、教育のあり方について」

人工知能の発達により、子供たちが活躍する未来は急速に社会が変化し、予測不可能な時代になるといわれています。これから先、どのような人材が求められるのか、そのためにどのような教育が必要なのか。グローバルビジネスの視点からお話しいただきます。

福岡県生まれ。1984年ソニーに入社。VAIO、デジタルTV、ホームビデオ、パーソナルオーディオ等の事業責任者やカンパニープレジデントを歴任した後、2006年ソニーを退社。翌年、グーグルに入社し、グーグル日本法人代表取締役社長を務める。2010年にグーグルを退社し、アレックス株式会社を創業。現在、同社代表取締役社長兼CEOを務める。2016年より神奈川県ME-BYOサミット神奈川実行委員会アドバイザリーメンバー。2017年より株式会社ウェザーニューズ社外取締役。

次期開催地(大阪府)あいさつ　16:30～16:40

視聴覚教材・機材展示会＆抽選会　9:00～17:00(抽選会 16:45～)

電子黒板・実物投影機・プロジェクター・デジタル教科書等、最新のICT教材・機材が展示されます。16:45からは、協賛各社の提供による豪華教材・機材が当たる抽選会が実施されます。

実践発表　13:00～14:55（A 13:00～13:55 ／ B 14:00～14:55）

	テーマ	講　師		発表者	概　要
1	【視聴覚】 プログラミング学習	須藤 太郎 元日本学校視聴覚教育連盟会長	A	手代木 英明 渋谷区立 西原小学校	プログラミング的思考力を高めるカリキュラム・マネジメントについて、理科・生活科を中心に説明します。授業実践は、ソニーMESHを用いた小学校6年理科「電気の利用」と総合的な学習への展開を紹介します。
			B	大竹 守 江戸川区立 下鎌田東小学校	小6家庭科で、調理実習の計画を立てる時に、何をどのような順番で行うのか、フローチャートに表しました。プログラミング的思考を、普段の授業でどのように生かすのか紹介します。
2	【視聴覚】 ICT活用	坂井 岳志 日本教育情報学会理事	A	佐藤 雄太／宍戸 舞子 荒川区立 第二日暮里小学校	平成26年度から、一人1台のタブレットを配備された荒川区。この夏に全台入れ替えになり、2巡目になったタブレットの「普段づかい」としての活用、プログラミング教育へ活用を紹介します。
			B	岩井 洋平 墨田区立 桜堤中学校	全教科でブルームの改訂版タキソノミー（教育目標分類学）を学び、授業に取り入れました。iPad240台やICT機器を活用して「主体的・対話的で深い学び」につながる授業実践を紹介します。
3	【放送】 幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿を意識した番組活用	堀田 博史 園田学園女子大学教授	A	片岡 花奈 奈良県大和高田市立 浮孔西幼稚園	幼小接続を意識し、子ども達の実態に合わせて『スマイル!』を活用しました。課題をクリアすると自信もついていきました。また、今年度は「NHKキッズ」を活用した実践に取り組んでいます。
			B	久保田 玲子 香川県丸亀市立 城辰幼稚園	子どもの主体的な遊びの質を高めたり広げたりするため、『ノージーのひらめき工房』や『しぜんとあそぼ』を活用しました。製作へのヒントや遊びへのさらなる意欲につながっていきました。
4	【放送】 学びが生活に活かされる情報活用能力の育成	中橋 雄 武蔵大学教授	A	井手 哲 相模原市立 鹿島台小学校	小学校4年生の国語、社会で新聞作りを行う際、『メディアタイムズ』を活用しました。視聴・対話・制作を通じ、読解だけでなく表現するメディア・リテラシーを高める重要性について考えました。
			B	新宅 直人 杉並区立 天沼小学校	小学校5年生社会で『未来広告ジャパン!』を活用しCM制作をしました。CMを作る際には『しまった!』など他番組もタブレットで個別視聴させ自分の考えをより良く伝える工夫を考えさせました。
5	【放送】 新学習指導要領における道徳番組・特別活動番組を活用した授業づくり	浅井 和行 京都教育大学 副学長・大学院連合教職実践研究科長、教授	A	髙田 大二郎 佐賀県唐津市立 名護屋小学校	小学校6年生の特別活動で『いじめをノックアウト』『オン・マイ・ウェイ』を活用しました。課題を実感したり、なりたい将来像について考えたりする活動を通して、考えを深めていきました。
			B	宮澤 有希 長野県塩尻市立 丘中学校	中学3年社会科「公民分野」に、道徳教材である『オン・マイ・ウェイ』を活用し、前回の実践を再構築したり、自校の伝統を見直したりしながら教科の目的に沿ったより効果的な学習について考えました。
6	【放送】 番組活用による科学的な見方・考え方を育む授業づくり	小林 祐紀 茨城大学准教授	A	星野 由佳 北区立 十条富士見中学校	中学校での理科で番組を活用しました。『学ぼう BOSAI』や『アクティブ10 理科』を活用し、生活に必要な力を身に付けることと科学的な見方や考え方を養うことを意識しました。
			B	松村 祐希 横浜市立 桜岡小学校	小学校5年生の理科で『ふしぎエンドレス理科5年』を活用しました。グループ毎に実験方法を検討し、結果についてのプレゼン資料作りをすることで、問題解決力を高めました。
7	【放送】 番組活用で実現できるカリキュラム・マネジメント	中川 一史 放送大学教授	A	櫻井 元太 石川県金沢市立 十一屋小学校	児童の学習の質を高めるために、『おばけの学校たんけんだん』（生活科）や『ことばドリル』『おはなしのくに』（国語科）を活用し、【誰でも取り組みやすい】を目指して実践を行いました。
			B	福田 晃 金沢大学附属小学校	金沢市の空き家問題を題材とし、総合的な学習の時間を中核とし、『メディアタイムズ』『しまった!』『お伝と伝じろう』などを活用しながら教科横断的な学習を行いました。
8	【高校】 ICT利用の新しい波 ～導入と活用の実例～	守屋 一幸 元全国高等学校メディア教育研究協議会会長 元全国放送教育研究会連盟副理事長	A	天野 尚治 神奈川県立 生田高等学校	「21世紀型スキルの育成」をコンセプトに進めてきた生田高校のICT利活用実践を、インフラと授業実践やBYODの導入までの経緯など、激動の5年間を紹介します。
			B	横濱 友一 聖徳学園 中学・高等学校	学習者本位なICT/STEAM教育の実践。学校はVisionで生まれ変わり、テクノロジーがイノベーションを加速させる。終わりのない教育改革への挑戦。子供たちのクリエイティビティを評価できる学校を目指して…!
9	【生涯学習】 視聴覚センター・ライブラリー事例発表	村上 長彦 全視連専門委員長	A	樋口 誠 埼玉県春日部市 視聴覚センター	春日部市視聴覚センターは、様々な取り組みを通して、市民の生活文化と知識の向上を図り、あわせて社会教育と学校教育の振興を図っている。現在、実施している取り組みについて紹介します。
			B	増山 和宏 栃木県宇都宮市立 視聴覚ライブラリー	宇都宮市立視聴覚ライブラリーは、様々な取り組みを通して、市民の生涯学習を援助し，学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興を図るため現在、実施している取り組みについて紹介します。

申し込み方法

原則として、下記のホームページからお申し込みください。

申し込み先URL：**http://www.javea.or.jp/soutai/**

（一般財団法人 日本視聴覚教育協会ホームページ内）

資料代 3,000 円 （OB・OG・一般・大学生 1,000 円）

◆振り込み先◆ 三井住友銀行 日比谷支店 普通預金 口座番号：8393920
口座名義：視聴覚・放送合同大会（シチョウカク・ホウソウゴウドウタイカイ）

◆申し込み締切◆ 10月25日（金） ※11月1日（金）までにお振込をお願い致します。

申し込みに当たって

○ホームページの例を参考に項目ごとに入力してください。
○申し込みは必ずお一人ずつ入力をお願いします。
○振り込み手数料は申し込み者のご負担でお願いします。
○申し込み後、変更が生じた場合は、電子メール（taikai@javea.or.jp）もしくはFAX（03-3431-2192）でご連絡ください。

参加の留意点

○ワークショップで使用できるタブレット端末の台数には限りがあります。
○昼食・宿泊についての斡旋は行っておりません。ご自身で手配をお願いします。
○自家用車でのご来場はご遠慮ください。

問い合わせ先

一般財団法人 日本視聴覚教育協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-11 虎ノ門PFビルB1
TEL：03-3431-2186 FAX：03-3431-2192
http://www.javea.or.jp/soutai/

全国放送教育研究会連盟事務局
〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1 NHK事業センター内
TEL：03-5455-4310 FAX：03-3481-1372
http://www.zenporen.jp/

大会2日目 東京・台東区立台東育英小学校へのアクセス

※校内は靴のまま入れます。床を傷つけるため、ハイヒールなどでのご来校はお控えください。

〒111-0053 東京都台東区浅草橋2-26-8
TEL：03-3851-3600
JR総武線・都営地下鉄浅草線「浅草橋」駅から徒歩5分